

目標－評価項目－評価指標(案)

主な根拠	目標
「美術館条例」	①美術を通じた交流の促進
「美術館基本計画」	②質の高い展覧会の開催
アンケート	③やすらぎの場の提供
「美術館活動の基本方針」	④知的好奇心の育成と充足
	⑤福祉活動の展開
	⑥学校との連携
	⑦市民との協働
「美術館基本構想」	⑧子どもたちへの美術館教育
	⑨優れた美術品の収集・保管

(量的指標)

目標	評価項目	平成19年度実績	平成20年度実績 (1月末現在)	評価指標
①美術を通じた交流の促進	a. 年間観覧者数	165,961人	88,606人	10万人
	b. 年間来館者数	386,175人	206,976人	20万人
	c. 市民／全体の比率	22.8%	40.3%	40%に近づける
	d. パブリシティの状況(雑誌・新聞からの認知率)	27.2%	15.4%	20%
	e. アクセス満足度	(未調査)	(未調査)	?
②質の高い展覧会の開催	a. 企画展集客率(企画展目的の来館者／サンプル数)	43.2%	51.2%	50%
	b. 企画展の満足度	70.5%	76.8%	70%
	c. 所蔵品展の満足度	65.8%	61.0%	65%
	d. 谷内六郎館の満足度	86.9%	76.1%	80%
	e. リピート率(複数回来館者／回答者)	20.5%	27.7%	50%に近づける
③やすらぎの場の提供	a. 館内アメニティ満足度	(未調査)	(未調査)	?
	b. スタッフ対応の満足度	78.9%	69.0%	80%
	c. ミュージアムショップの満足度	(未調査)	84.2%	80%
	d. レストランの満足度	(未調査)	64.3%	80%
	e. 図書室の満足度	(未調査)	66.6%	80%
	f. 観音崎公園への滞在時間平均	(未調査)	2.8時間	3時間

(質的指標)		自己評価		2次評価
目標	評価項目	平成19年度	平成20年度	
④知的好奇心の育成と充足	a. 講演会・アーティストトークなど	A	A	
	b. 一般向けワークショップなど	A	A	
	c. 学芸員によるギャラリートーク	A	A	
	d. 作品解説カードの設置	B	C	
	e. 学芸員による論文等	B	B	
⑤福祉活動の展開	a. 福祉とアートをテーマとした講演会の開催	A	A	
	b. 障がい児を対象としたワークショップ	B	A	
	c. 障害者施設、高齢者施設など各種団体の受け入れ	B	B	
	d. 託児サービスの実施	B	B	
	e. 対話による鑑賞補助の実施	C	B	
⑥学校との連携	a. 小学校美術館鑑賞会の受け入れ	B	B	
	b. 中学生のための美術鑑賞教室	A	A	
	c. 職業体験の受け入れ	B	A	
	d. インターンシップの受け入れ	B	A	
	e. 初任者研修の受け入れ	B	A	
	f. 出前授業などの実施	A	—	
	g. 校外活動、研究活動の受け入れ	A	A	
⑦市民との協働	a. 開館記念イベント企画ボランティア	A	—	
	b. サポートボランティア	B	B	
	c. プロジェクトボランティア	A	A	
⑧子どもたちへの美術館教育	a. 子ども向けワークショップ	A	A	
	b. アーティストと出会う会	A	A	
⑨すぐれた美術品の収集・保管	a. 作品収集の状況	B	B	
	b. 保存・修復の状況	A	A	
	c. 所蔵作品の貸出状況	A	A	

A: 質・量とも十分な活動をしている。B: 活動をしているが、改善すべき点がある。C: 活動が不十分である。